

2022-23 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第1509回(16)

会長 笹田 博之 幹事 内山 春夫

クラブ会長テーマ



「想像力を高めて変化に対応、社会に貢献」

日時	2022年 11月 15日(火) 12:30 ~
場所	福山ニューキャッスルホテル
例会行事	点鐘・ソング「おおマイフレンド」 「四つのテスト」唱和 ゲスト・ビジターの紹介（出席報告参照） 会長報告 幹事報告 出席報告 S A A 報告 スマイル報告 プログラム情報 その他報告
その他情報	メイクアップ情報（来週分） メイクアップ情報（再来週分） 今後の行事予定 クラブ活動報告



IMAGINE
ROTARY

【 会 長 報 告 】

11 月半ばとなり広島県内も先月下旬から今月中旬にかけて紅葉(こうよう)の見頃のシーズンとなりました。県内も紅葉の名所は数ありますが全国的には京都の紅葉がもっとも鮮やかと言われ国内外からの観光客に人気でこの時期には多くの人を訪れます。京都は神社、仏閣、庭園が多く特にもみじ、かえでの紅葉とのマッチングはまるで絵にかいたようで美しいからだとおもいます。落葉樹の紅葉は最低気温が 8 度以下の日が続くことで葉っぱが緑色、青色から赤や朱色、黄色に変化することを言います。また紅葉は最低気温が 5、6 度になることで一気にすすみます。気温が低くなると光合成などの反応速度が遅くなり、また昼間の時間も短く、生産される養分が減り樹木は冬が訪れる前に消費エネルギーの少ない状態、省エネモードとするために葉っぱの働きを徐々に止めていくことにより紅葉が進んでいくと考えられています。例えて言えば冬眠状態に入る準備だと思われま

す。京都の紅葉が格別と言われるのは盆地という独特の地形により昼、夜の 1 日の寒暖差が大きいことや湿度も高めであることが理由の一つとしてあげられるそうです。個人的にはもみじの燃えるような深い赤、朱色が一番美しいと思います。若いころは新緑とか紅葉とか四季の変化の移り変わりにはまったく気にもかけず興味も特別ありませんでしたが、ふと年を重ねると共に四季の周りの動植物の変化、景色が目に入ってくるようになりました。我が家の庭にも数年前に紅葉を楽しむ為にもみじの苗を植えて、いまでは背丈をじゅうぶんに超える大きさになったのですがもみじの種類、個体差、環境の違い等で名所で見る燃えるような鮮やかな赤色にならないのは少し残念に思っています。いずれにしても 11 月は紅葉の見頃の時期です。会員の皆様もたまには気分転換に野山、名所に出掛けて(もみじ狩り)紅葉を楽しんでいただけたらと思っています。

余談としてヨーロッパなどは木の種類や気温、環境の違いから真っ赤に色づく落葉樹が少なくわざわざ紅葉を見に出掛ける習慣はあまりないそうです。

【プログラム情報】

《自然保護についてのフォーラム》

【自然保護フォーラム アンケート集計】

担当：例会委員会 委員長 佐藤 教夫

- ① 11月1日の「日本熊森協会」森山名誉会長の卓話をお聞きになってどの様に感じましたか。
- ・現状を改めて認識した。
 - ・水資源を外国人に買われているのが不安
 - ・森林の未来の為には人の手が欠かせないという事を学びました
 - ・もう少し、森林に目を向ける必要がある。
 - ・マイクロプラスチックなど海洋汚染の問題もある
 - ・日本は自然が豊かと思っていたが、全く違い、びっくりした
 - ・国の規制が必要
 - ・入会して、少しでも役に立てればと感じた
 - ・若干偏りを感じる内容でしたが、太陽光や風力発電に係わる指摘は適切と思う
 - ・もっと関心を持たないといけないと思う、政治色が強い
 - ・危機感を抱いた。なんとかしないといけないと思います
 - ・現状の見える化と動かない政治家、本来の役割を果たさないメディア、が一番問題
- ② 「かつて森を消した文明は全て、滅びる。」と言われていましたが、環境破壊に対して、何か我々ができる事は無いでしょうか。
- ・環境破壊に対して近視的な判断をすることなく総合的な判断が出来るよう心掛ける
 - ・植林活動には協力したい
 - ・森山さんにお聞きするのがよい
 - ・この事をもっと日本の国民が知ることが大事と思う
- ③ ちょうど先週、財団委員の三吉様に卓話をお願いしましたが、地区補助金を申請するとすれば、どの分野へ支援するか、また手順はどうすれば良いのでしょうか。
- ・支援する為には、まず勉強することが先決と思う
 - ・活動をわかり易く、具体的にする必要はある
 - ・環境問題に有効的な手立てがあるとは思えないので、他の分野に援助すべき
- ④ もし日本熊森協会の支援をするとすれば、継続支援にするべきでしょうか。
- ・入会は個人に任せるべき、協会の中身が見えにくい
 - ・我がクラブはグリーンラインの支援に集中するべき
 - ・各年度で検討すべきで、当面は個人の参加が良い
 - ・一度話をお伺いしたに過ぎないので、支援には反対します

<感想>



今まで現状を知らなかったなので、話を聞いて驚きましたという意見が多かった様です。

「日本熊森協会」は組織が大きく、支援の状況も見えにくい為、とりあえずは、個人で会員となり、援助した方が良いのでは、また、我がクラブとしては地元密着の「グリーンライン」支援などに力を入れるべき、という意見が多数でした。

ほとんどの方が、危機感と、このままではいけないという考えをお持ちでしたので、今後、我がクラブでも、自然保護、環境問題に関して、機会があるごとに勉強会などを開催し、どう取り組んで行くべきか検討したいと思います。

多数のご意見ありがとうございました。(佐藤・記)



【その他報告】

《各種表彰等》

【誕生日】



《11月17日生まれ 下平 靖孝 さん》

《11月21日生まれ 小林 崇 さん》

《12月 2日生まれ 河村 直孝 さん》

《第1509回例会 BGM♪》
・細井資伸さん選曲
『♪殿様キングス アルバム♪』